

5 今後の事業評価制度について

本市が目指す事業展開は、計画、予算、評価という各過程がトータルで機能するような体系を整備し、PDCAサイクルを循環させていくことです。

そのためには、各事業に設定する業績測定指標の妥当性、変動の反映性、明瞭性を確保し、さらに市を取り巻く社会経済環境や市の財政状況等を分析したうえで、市民ニーズと実現性のバランスがとれた目標値を設定し、その目標に向かってどのように事業が進捗しているのか、定期的の実績を測定していくことが必要です。

事業評価では、この実績と目標値との比較等により事業の進捗状況を把握したうえで、現状の課題、今後の方向性等を明らかにします。それが、PDCAをうまく循環していくための一つのツールとして機能することになります。

そのためにも、現行の評価方法に固執することなく、評価シートの構成や評価手順等を研究し、本市の実情に合った評価制度の確立に努めていきます。

併せて、業績測定指標の浸透化によるPDCAサイクル全体の質の向上や、職員の意識改革の推進等により、評価の実効性の維持、向上に努めていきます。